

## 「粟井会」が総会

粟井機鋼

継手などの管材や配管、住宅設備機器を販売する粟井機鋼（本社・大阪市西区、社長・粟井寛儀氏）は、2日に取引先の販売店、メーカーなどで構成する粟井会の第7回総会を福岡県福岡市のホテルニューオータニ博多で



挨拶する粟井社長

開催し、185人が出席した。

第1部の総会では、会長の上坂泰啓中島管材鋼機社長が挨拶。続いて粟井社長は「3年ぶりの対面での総会開催となったが、その間、コロナ禍や戦争などにより大きな変化が起きている。こういった時に、対面で総会を開催する意義は、これらの大きな変化に対応されている成功体験を直に聞き共有できることだ。またメーカーの方の話も聞き、化学反応が起これば、なおうれしい」と挨拶した。議

事では全議案を可決。新会長に稲垣博史稲垣機材社長が選任された。続いて小林繁本社長営業部部長が同社の直近の業績を説明。役員幹部と拠点長を紹介した。最後に粟井文隆取締役会長がお礼の挨拶をした。

第2部の情報発信会では、まず「今、九州が熱い！」とし九州各地で計画されている再開発や工場の大型プロジェクトを紹介。また賛助会員のLIXIL、多久製作所、タブチ、テクノフレックスの九州の工場の概要や特徴、生産品を紹介した。続いて「建設資材高騰に関しての現状と今後の動向」や「建設業界の変革とBIMについて」を説明し、最後に千葉拓男執行役員東北支店長が閉会の挨拶をした。